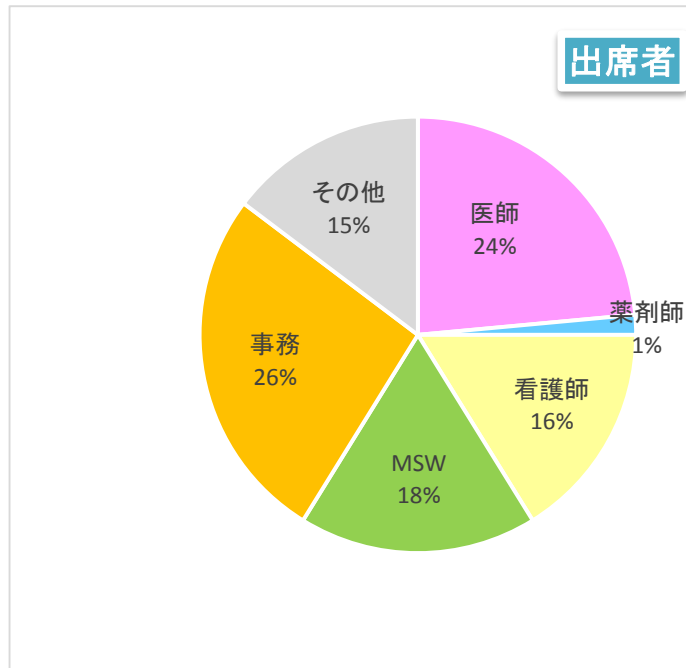


### 出席者内訳 (68名)

職種	人数
医師	16
薬剤師	1
看護師	11
MSW	12
事務	18
その他	10
合計	68

#### その他内訳

診療情報管理士	1
臨床検査技師	2
管理栄養士	3
保健師	3
心理士	1

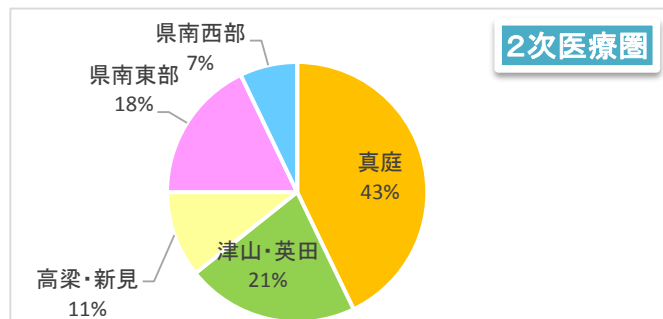


### アンケート集計結果

回答者 56名 / 出席者68名

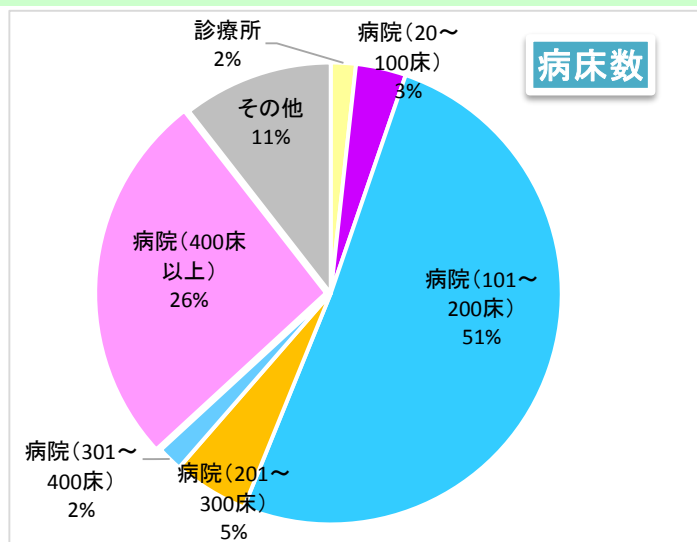
#### ◆所属施設の2次医療圏

施設名	人数
真庭	24
津山・英田	12
高梁・新見	6
県南東部	10
県南西部	4
県外	0
無記入	0



#### ◆所属施設の病床数

病床数	人数
診療所	1
病院(20~100床)	2
病院(101~200床)	29
病院(201~300床)	3
病院(301~400床)	1
病院(400床以上)	15
その他	6

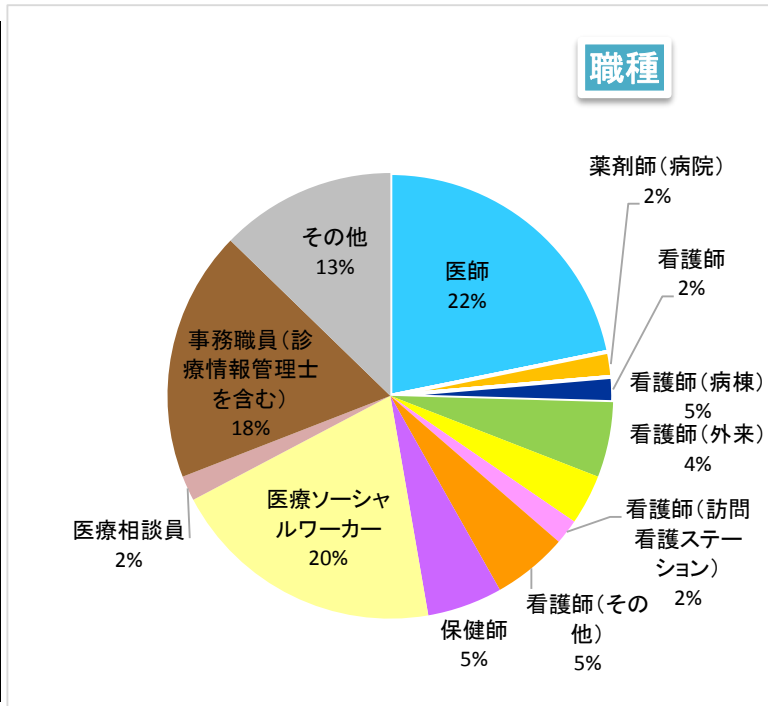


#### その他の内訳

訪問看護ステーション	1
不明	6

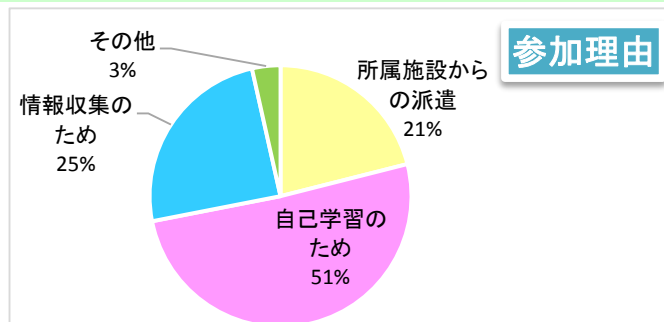
◆アンケート回答者の職種

職種	人数
医師	12
歯科医師	0
薬剤師	0
薬剤師(病院)	1
薬剤師(調剤薬局)	0
薬剤師(その他)	0
看護師	1
看護師(病棟)	3
看護師(外来)	2
看護師(訪問看護ステーション)	1
看護師(その他)	3
保健師	3
医療ソーシャルワーカー	11
医療相談員	1
介護支援専門員	0
事務職員(診療情報管理士を含む)	10
その他	7



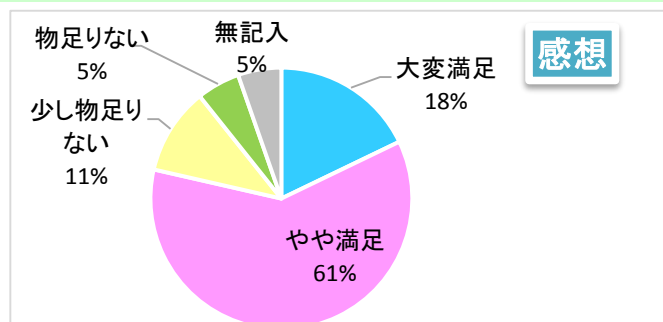
◆研修参加理由(複数回答可)

理由	人数
所属施設からの派遣	12
自己学習のため	29
情報収集のため	14
その他	2



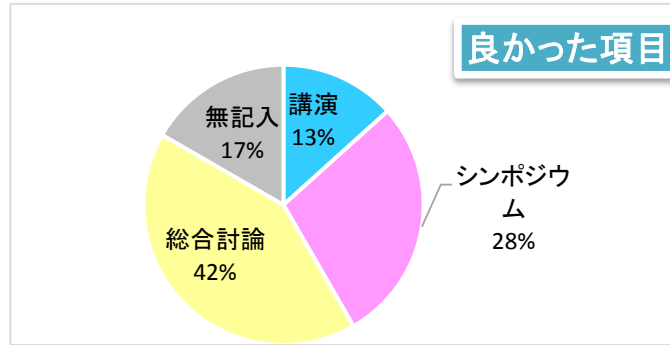
◆研修会の感想

感想	人数
大変満足	10
やや満足	34
少し物足りない	6
物足りない	3
無記入	3



◆本研修会で良かった項目(複数回答可)

項目	人数
講演	8
シンポジウム	17
総合討論	25
無記入	10

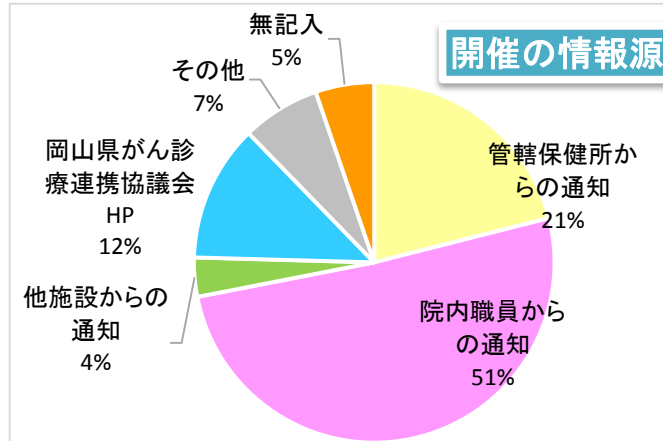


◆本研修の開催情報の取得方法について(複数回答可)

取得方法	人数
管轄保健所からの通知	12
院内職員からの通知	29
他施設からの通知	2
岡山県がん診療連携協議会HP	7
その他	4
無記入	3

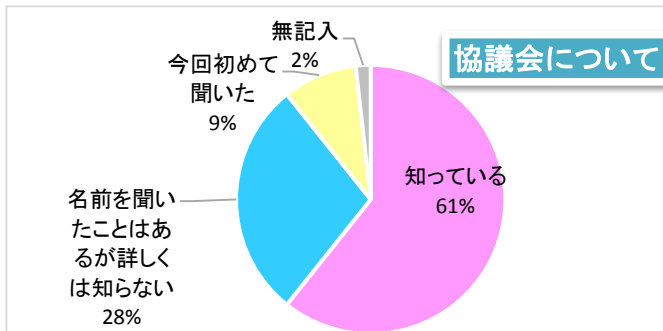
その他の内訳

岡山県から	1
不明	3



◆岡山県がん診療連携協議会を知っているか

どれくらい知っているか	人数
知っている	34
名前を聞いたことはあるが詳しくは知らない	16
今回初めて聞いた	5
無記入	1



## ◆今後取り上げてほしいテーマ

- ・若い世代(医師)への連携。
- ・患者と医療者のコミュニケーションについて。
- ・真庭市(県北)で実際に行なわれている連携データが知りたい。(各施設名患者内訳など・連携拠点HP・それ以外のHP)
- ・岡山の緩和ケアの現状課題。
- ・現状と問題点ということ今日参加させて頂きましたので、今後は是非この問題についての解決案、対策案を「案」の状態から打ち出して地域ごとの問題を参加者で討論できるような場を設けて頂きたい、より具体的にしていくなることが必要かと思いました。
- ・緩和ケアへの具体的な取り組みについての紹介。
- ・地域の病院とのよりよい連携のとり方(拠点病院同士だけでなく)
- ・課題に対する取組み事例の紹介。
- ・拠点推進病院以外の医療機関との連携の現状。
- ・各病院で特徴のあるがん診療を行なっていると思われるので、ご紹介頂けると各施設の状況が分かって良いと思う。
- ・意思決定支援
- ・がんのリハビリテーション
- ・管理栄養士のがん診療連携での関わり、食事や栄養についての話。
- ・緩和ケアチームの役割と運営方法。
- ・今までの研修会で行なった内容なら各機関で変化のあったことがあれば聞きたい。

## ◆がん地域連携、がん診療拠点病院・推進病院についてのご意見

- ・がん患者に終末期療養のある場所を→がん患者以外の人みんなに対してもっと考える機会が必要なのかも
- ・先生方の言われたようにもっと生活の場を知る必要があると感じた。
- ・フロアからのご意見が拠点病院に対してあまりにも否定的だったのがどうしても引っかかりました。
- ・ディスカッション等話しやすい雰囲気であることは進行される、中田先生、田端先生のお人柄や、問う姿勢と感心いたしました。ありがとうございました。
- ・拠点病院側から地域(県北部)に紹介する際に、どのような情報が欲しいのか？受け入れ側、連携側はどのような体制が求められるのか？具体的な討論ができると良い。
- ・各病院の本音が聴けるこのようなシンポジウム、総合討論はたまにあった方が良いと思います。
- ・主病院が遠方であるときに、近隣病院にどこに行っても情報が分かる手帳や紹介状等を持ってもらう工夫は必要ではないか。
- ・県内各医療機関がどの程度連携をとっているか知りたい。
- ・多職種の方から色々な方面での考え方、意見が聞けたので、今後の看護について考える機会がなり良かったです。
- ・田舎の診療所で医療を行なっていると、当地区の病院との連携をどのように進めていくのか考えなければなりません。
- ・受ける方も情報を把握し、よりよい地域連携をしていけたら良いなと思いました。
- ・拠点病院ではがんを見て患者を見ない傾向にあるようです。患者に向き合いICを充分に行ない、対応する時間は充分あると思います。今後の専門医の大きな壁とならないように制度の充実が必要。
- ・今後も県北、県南の連携につき、話し合いを進めてほしい。

- ・主病院が遠方であるときに、近隣病院にどこに行っても情報が分かる手帳や紹介状等を持ってもらう工夫は必要ではないか。
- ・多くの方々が参加されており、非常に勉強になりました。多くの方が集うということですので、参加者へのタイムコントロールはもう少し気を使って頂ければ幸いです。
- ・少しでも地域差を減らして頂き、治療が受けられるようご尽力いただければ。かかりつけ医の大切さも感じたのでかかりつけ医の見つけ方を広報していただければ。
- ・診療圏域ごとでの地区ミーティングを拠点病院ごとで実践に欲しいです。
- ・地域がん診療病院としての役割はどこまでか、明確にして頂きたい。
- ・成功症状をもっと共有したいです。
- ・本当に難しい連携と思います。まず、患者、家族の思いを聞いてあげることが一番連携に繋がるとおもいました。